

●世界の主な地震

平成 21 年（2009 年）5 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

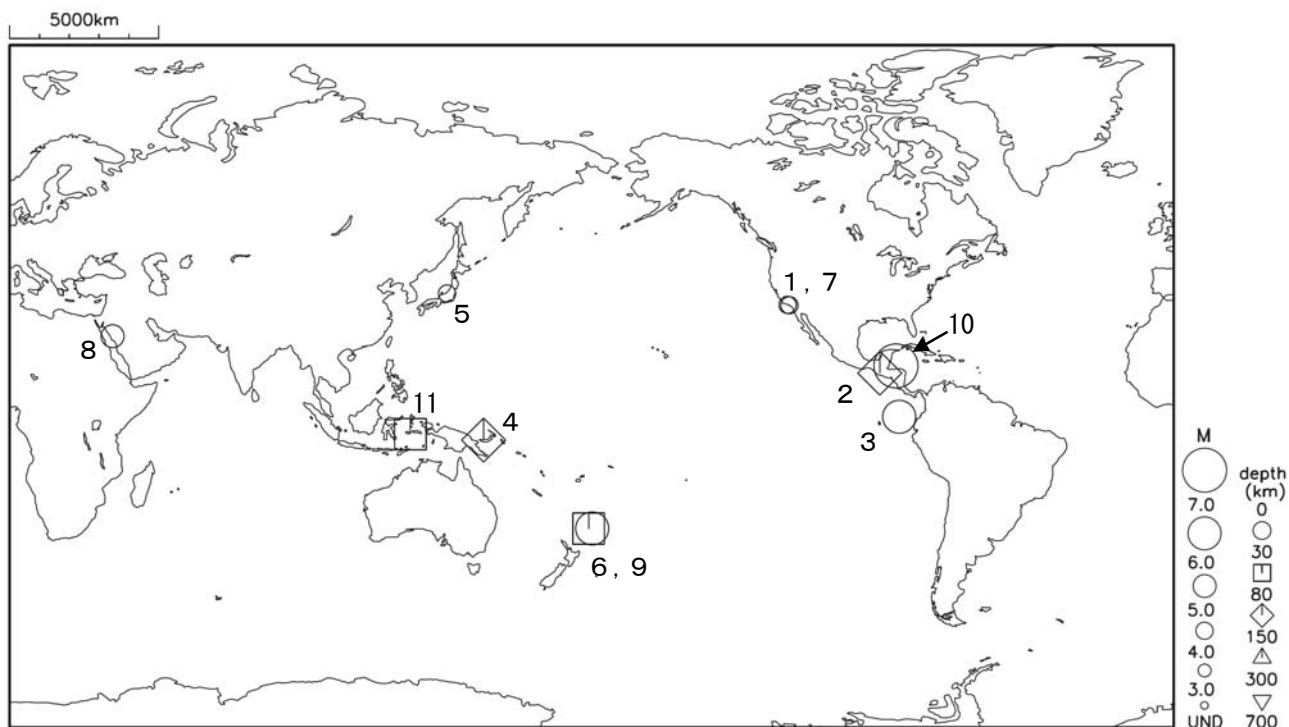


図 1 平成 21 年（2009 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

*** : 日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表 1 平成 21 年（2009 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

| 番号 | 震源時 月 日 時 分 | 緯度 | 経度 | 深さ (km) | mb | Ms | Mw | 震央地名 | 備考（被害状況など） |
|----|----------------|------------|-------------|------------|-----|-------|-----|-------------------|----------------------------------|
| 1 | 05月02日10時11分 | N34° 04.1' | W118° 52.9' | 14 | 4.3 | | | 米国、カリフォルニア州南部 | 負傷者 1 人 |
| 2 | 05月04日01時21分 | N14° 34.8' | W 91° 05.2' | 124 | 5.6 | | 6.2 | グアテマラ | |
| 3 | 05月10日10時16分 | N 1° 23.2' | W 85° 13.8' | 6 | 5.5 | 5.7 | 6.1 | エクアドル沖 | |
| 4 | 05月12日10時26分 | S 5° 40.9' | E149° 32.8' | 97 | 5.9 | | 6.1 | パプアニューギニア、ニューブリテン | |
| 5 | 05月12日19時40分 | N37° 04.3' | E138° 31.9' | 12 | 4.8 | (4.8) | | 新潟県上越地方 | 配水管損傷などの被害あり |
| 6 | 05月16日09時53分 | S31° 30.6' | W178° 48.0' | 55 | 6.1 | | 6.5 | ケルマデック諸島 | |
| 7 | 05月18日12時39分 | N33° 56.2' | W118° 20.1' | 14 | 4.7 | | | 米国、カリフォルニア州南部 | 建物被害あり |
| 8 | 05月20日02時35分 | N25° 21.3' | E 37° 45.9' | 1 | 5.7 | 5.3 | 5.7 | アラビア半島西部 | 負傷者 7 人以上 |
| 9 | 05月24日09時58分 | S31° 28.3' | W177° 42.8' | 29 | 5.6 | 5.9 | 6.0 | ケルマデック諸島 | |
| 10 | 05月28日17時24分 | N16° 43.9' | W 86° 13.2' | 10 | 6.7 | 7.2 | 7.3 | ホンジュラス北方 | 死者 7 人以上、負傷者 40 人以上、建物被害 160 棟以上 |
| 11 | 05月29日09時58分 | S 3° 52.3' | E127° 29.3' | 54 | 5.8 | 6.4 | 5.5 | インドネシア、セラム | |

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による（平成 21 年 6 月 4 日現在）。また、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁による。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
- ・ NWPTA は気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）。

5月28日 ホンジュラス北方の地震

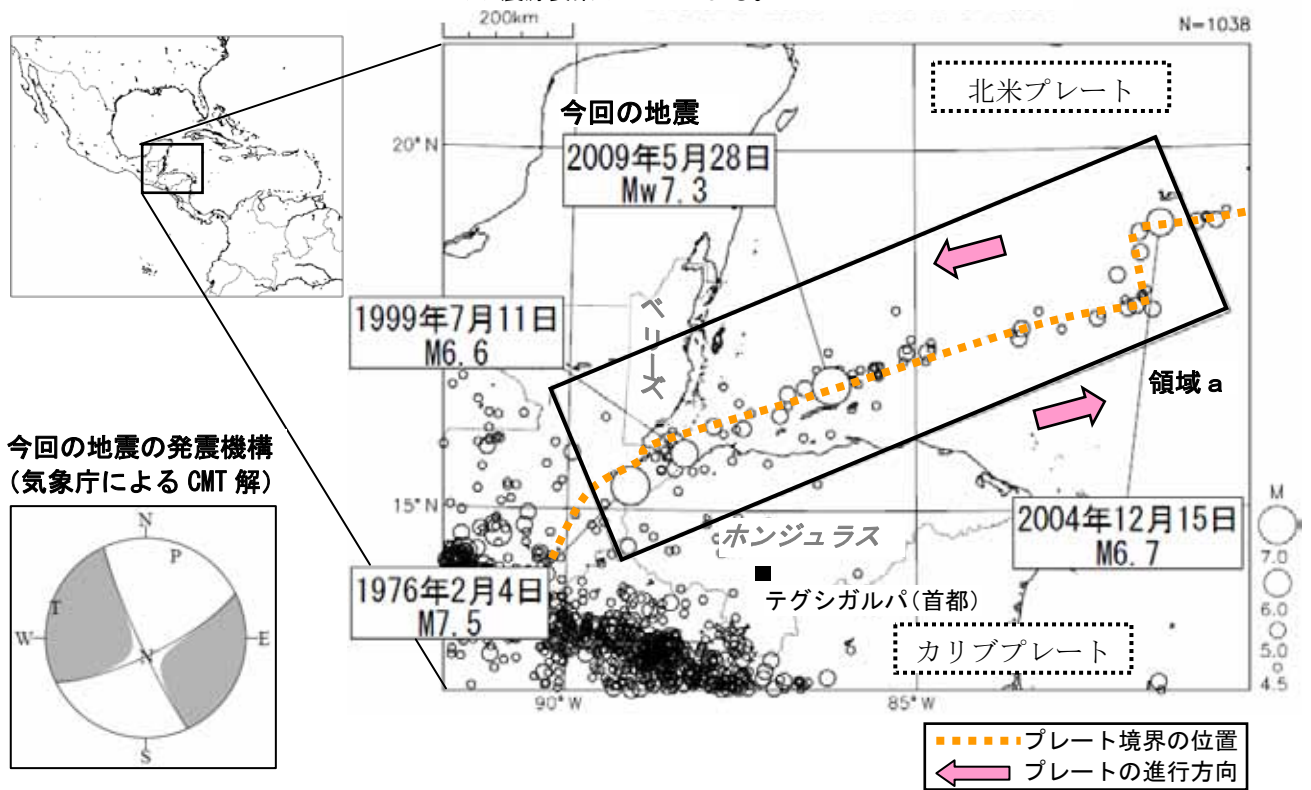
2009年5月28日17時24分頃（日本時間）、ホンジュラス北方でMw7.3（気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。気象庁はこの地震について、「遠地地震の地震情報」を発表した。

ホンジュラスでは、7人以上が死亡し40人以上が負傷したほか、ホンジュラス北部のエル・プログレソで橋が崩壊するなど、ホンジュラスやベリーズで建造物に被害が生じている（6月4日現在、アメリカ地質調査所[USGS]による）。また、5月28日から30日にかけて、M4.5以上の余震が3回発生した。

今回の地震の震源は、北米プレートとカリブプレートのプレート境界に位置する。今回の地震の震源周辺では、時おりM6.0以上の地震が発生している。1976年2月4日にはM7.5の地震が発生し、死者22,870人などの被害が発生している（「宇津の世界の被害地震の表」による）。

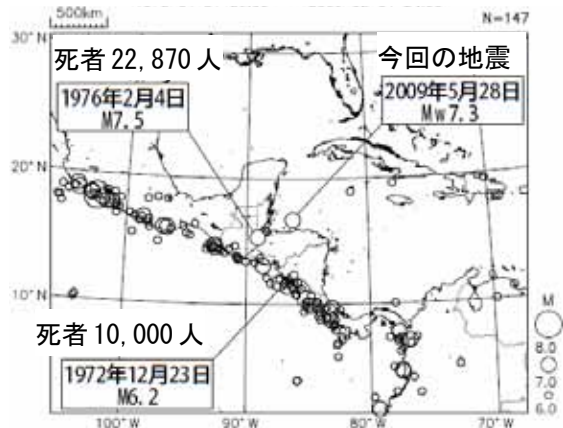
震央分布図（1970年1月1日～2009年5月31日、深さ100km以浅、M≥4.5）

※ 震源要素はUSGSによる。



震央分布図（1970年1月1日～2009年5月31日、深さ100km以浅、M≥6.0）

震源要素はUSGS、被害は「宇津の世界の被害地震の表」による。



領域a内の地震活動経過図

